

【第2次スポーツ推進計画における主な記載（抜粋）】

「府民誰もがスポーツに関わり親しむ機会の創造」－「あらゆる世代でのスポーツ活動の推進」  
府民誰もがそれぞれのライフステージにおいて豊かな生活を送ることができるよう、市町村、学校体育・スポーツ関係者・団体、企業等と連携して、様々なジャンルや種目のスポーツを「いつでも」「どこでも」「どのようにも」楽しむことができる環境整備を推進します。

- ① 子ども 幼児期の運動経験や運動の好き嫌いがその後の運動習慣や体力・運動能力に影響を与え、また、複数のスポーツの経験がより良い効果をもたらすことから、就学前から義務教育期にかけて様々な運動・スポーツに親しむ機会を創出します。
- ② 働き盛り、子育て世代 府内のスポーツ実施率は30歳代で低く、30歳代・40歳代の女性で特に低くなっています。このようなスポーツから「距離のある」人がスポーツをするきっかけとなるような取組を進め、気軽にスポーツに親しめる機会を創出していきます。
- ③ 高齢者 幸福で豊かな高齢期の実現には健康保持・増進や介護予防が必要であり、それにはスポーツが大きな役割を果たすことができます。高齢者が身近に気軽にスポーツを継続できる環境の整備を図ります。

成人の週1回以上のスポーツ実施率の推移（スポーツ庁 世論調査より）

○2020（令和2）年度の成人の週1回以上のスポーツ実施率は59.5%で、計画初年度の2017（平成29）年度から9.2%増加。府計画の目標値である50%を達成。  
○計画期間において、全国における値と同様の傾向を示している。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度目標値
大阪府	42.3%	50.3%	56.4%	56.2%	59.5%	50%
全国	42.5%	51.5%	55.1%	53.6%	59.9%	65%

【令和2年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査（抜粋）】

I 【スポーツ実施率】

○成人では、前年度の53.6%から59.9%と6.3%増加。年代別では若年層（10・20代）を中心に各層で上昇。  
○しかし、**1** 働き盛り世代を含む20～50代は全体平均を下回り、特に40代がもっとも低くなっている。

II 【1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度】

○全年代で、「増えた」と答えた者が18.0%。「変わらない」「あまり変わらない」が52.5%と最も高くなっている。しかし、**2** 「減った」が26.1%で、全年代で「増えた」より高くなっている。  
○男女ともに20代・30代で「増えた」と答えた割合が20%を上回る一方、男女ともに70代が一番低い。  
○**3** 男女ともに「減った」と答えた割合が高いのは10・20代で、特に10代は40%を超えている。

III 【運動・スポーツの実施が増加した理由】

○**4** 増えた理由は「感染症対策による日常生活の変化」が36.4%で最も高く、次いで「仕事が忙しくなくなったから」（27.0%）、「運動・スポーツが好きになったから」（16.4%）と続く。  
○年代別では、「コロナウィルス感染症対策による日常生活の変化」は50代、「仕事が忙しくなくなったから」は20代、「運動・スポーツが好きになったから」は10代、「健康になったから」は70代で、高い。

【運動・スポーツの実施阻害要因】

○阻害要因としては、「仕事や家事が忙しいから」が39.9%で最も高く、次いで「面倒くさいから」（26.4%）、「年をとったから」（23.6%）、「コロナウィルス感染症対策による日常生活の変化」（18.1%）の順。  
○**5** 年代別では、「仕事や家事が忙しいから」は20代～30代で、「感染症対策による日常生活の変化」は70代で、「子どもに手がかかるから」は30代で、「場所や施設がないから」は10代で、割合が高い。

IV 【運動・スポーツを実施した理由、スポーツの価値】

○**6** 実施理由としては、「健康のため」が最も高く、「体力増進・維持のため」が続いている。  
○**7** 価値は、「健康・体力の保持増進」が77.0%と最も高く、「人と人との交流」「精神的な充足感」が続く。

<課題の整理>

- 1**、**2**、**3**、**5** → 年代で傾向・要因の違い → ○スポーツ実施率の向上、スポーツ参画人口の拡大を図るため、実質率の低い層へのスポーツをするきっかけづくりに向けたアプローチ。  
○ライフステージに応じたスポーツ機会の提供・情報発信等について、働き盛り世代、障がい者等個々のニーズを踏まえた取組み。
- 6**、**7** → スポーツの実施理由・価値 → ○スポーツが有する重要な価値である健康増進を踏まえ、アクティブライフの実現に向け、スポーツと健康づくりについて重点的に取組み。
- 4**、**5**、**7** → スポーツと生活、その価値 → ○スポーツと生活の関係、人と人とを結ぶスポーツの価値を踏まえ、スポーツを積極的に活用したまちづくり・地域活性化の取組み。  
○地域活性化にあたっては、大阪の魅力的な地域資源を活用したスポーツツーリズムを推進し、都市魅力を創出。
- 2**、**4**、**5** → 感染症の感染拡大の影響 → ○新型コロナウイルス感染症の影響の大きさを鑑み、計画策定や個々の事業実施においても、コロナ禍を踏まえ対応。

多分野にわたる取組みの必要性から、多分野にわたるスポーツ施策の展開のためには、庁内の体制構築・連携強化とともに、関係団体・関係者との連携体制構築。